

道づくりだより

創刊号

2007. 3 島根県道づくり調整会議



創刊にあたって

本県の公共事業におきましては、厳しい財政事情から大幅な削減がなされている一方、公共交通機関が発達していない本県では、自動車交通への依存度が非常に高く、救急医療・災害対策・通勤通学など道路整備に対するニーズは多岐に亘っております。

また、市町村合併や地方分権の推進など大きな変革の中で一層の計画的、効率的な事業執行や説明責任、透明性の確保等が強く求められています。

こうした状況を踏まえ各種道路の計画や事業実施及び利用等に関する様々な課題等について連絡調整を図り、総合的な道路行政を進めていくため、農林水産部と土木部による「島根県道づくり調整会議」を新たに設置し、この中の取り組みの一つとして、これまで土木部の道路関係4課にて定期的に発行しておりました、「どうろだより」をリニューアルし、農林水産部も含め、総合的な道路情報を県民の方へ分かりやすくお伝えするため、この度、「道づくりだより」として新たに発行することとしました。

今後は本誌を通じて、皆様のご意見・ご質問等にもお答えしていきたいと考えております。

平成19年3月

島根県道づくり調整会議会長
島根県土木部次長 神長 耕二



CONTENTS

1. 道づくり調整会議について
2. 「くにびき海岸道路」の全線開通について（農林水産部農地整備課）
3. 主要地方道玉湯吾妻山線 遠所工区の開通について
4. 山陰道「三隅～益田間」環境影響評価着手（土木部高速道路推進課）
5. 中山間道路走行支援システムの導入【県央県土整備事務所】について（土木部道路建設課）
6. お知らせ（出前講座について）

道づくり調整会議について

島根県道づくり調整会議による効率的な整備（平成18年度から実施）

より効果的な道路整備を行うため、本庁及び出先事務所単位で調整会議を設置し、農林道・市町村道と一体となったネットワークの整備や道路の利活用を進めます。

島根県道づくり調整会議
設置目的の概念図



【設置状況について】

<本庁組織>

島根県道づくり調整会議	
平成18年6月14日設立	
会 長	土木部次長
副会長	農林水産部参事
【幹事会】	
幹 事 長	道路建設課企画調査GL
副幹事長	農地整備課農道整備GL
①広報ワーキングチーム	
平成18年12月12日設立	
・メンバー9名	
②権限移譲ワーキングチーム	
平成19年3月7日設立	

今後、以下の事項などについて会議調整を行っていきます。

- ・道路整備計画の策定
- ・新規事業箇所調整
- ・事業評価
- ・事業スケジュール等の調整
- ・道路構造調整
- ・施工計画調整
- ・広報活動
- ・移管処理調整 など

広報活動の一環として、本誌「道づくりだより」を発行

<地区組織>

地区道づくり調整会議	
地区名:設立年月日(予定)	概要、特記事項
①松江地区 ・平成19年2月22日設立	 <p style="text-align: center;">隠岐地区道づくり調整会議</p>
②雲南地区 ・平成19年3月15日(予定)	
③出雲地区 ・平成19年3月2日設立	
④県央地区 ・平成19年2月14日設立	
⑤浜田地区 ・平成18年12月27日設立	・第1回目であり、各事業紹介等が中心 ・今後の検討課題の方向性についてアンケート調査を実施
⑥益田地区 ・平成18年12月15日設立	・第1回目であり、各事業紹介等が中心 ・今後の検討課題についての発言は特になし
⑦隠岐地区 ・平成18年10月24日設立	・離島という地理的特性から、島前分科会を設置2月27日に分科会開催 ・町より積極的に会議を活用したい旨の発言あり ・島前地区に連携事業あり

くにびき海岸道路の全線開通について

平成18年11月25日に、くにびき海岸道路が全線開通しました。くにびき海岸道路は、出雲国風土記の「国引き神話」の舞台となった「蘭の長濱」沿いに位置し、出雲市多伎町の「道の駅きらら多伎」付近の国道9号と、同市大社町の国道431号を結ぶ全延長約11kmの道路での総称です。

大社町中荒木から同市湖陵町差海までの延長5.4km区間を、島根県が農道整備事業（簸川西地区農免農道）で、また、湖陵町差海から多伎町多伎の国道9号までの延長5.9km区間を出雲市が道路整備事業で整備しました。

事業の概要（簸川西地区農免農道）

事業主体：島根県

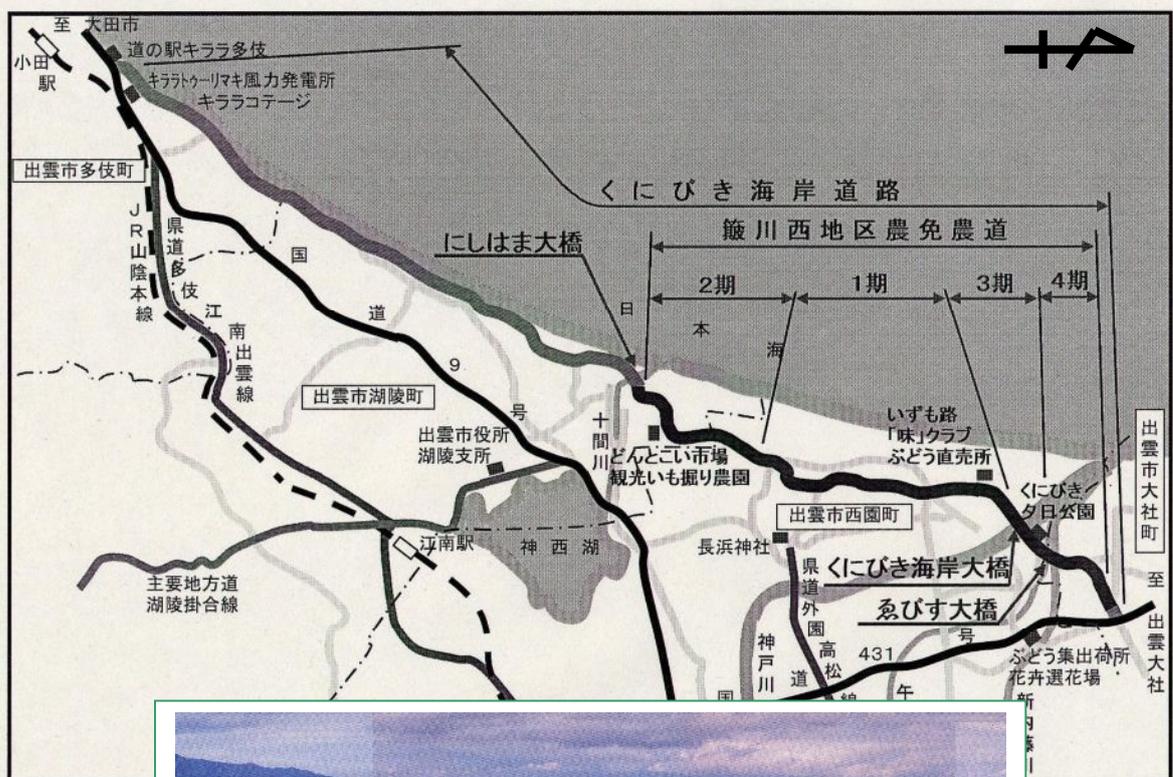
工期：平成元年度～平成18年度

総事業費：48億1千百万円

総延長：5,411m

道路幅員：全幅員7.0m（車道幅員5.5m）
一部区間に片側歩道（幅員3.0m）

主要構造物：くにびき海岸道路（L=364m）
ゑびす大橋（L=93m）



農道の効果

くにびき海岸道路の沿線は「ブドウ」の生産団地が広がり、「イチジク」や「西浜いも」などの栽培にも積極的に取り組まれています。本道路は、これら農作物の生産及び流通輸送の効率化に寄与します。

地域の新たな生活道路として、利便性や安全性の向上はもとより、産業振興や広域観光ルートとして、地域の活性化に寄与します。

平成18年11月25日(土)「くにびき海岸道路」の開通式が、道路沿のくにびき夕日公園において、島根県知事をはじめ約100人の出席者により盛大に執り行われました。



開通区間



知事あいさつ



記念碑除幕の様子



安全祈願

くにびき海岸道路(簸川西農免農道)の様子



農道沿いのブドウ直売所

簸川西1期地区
農道沿いにハウスが立ち並ぶブドウ生産が盛んな地域です。



農道沿いに建てられた直売所「どんとこい市場」

簸川西2期地区
「西浜いも」と呼ばれるさつまいもの畑が道路沿いに広がっています。



くにびき海岸大橋

簸川西3期地区
上流側から日本海に沈む夕日を望む時には、必ずくにびき海岸大橋が視界に入ります。



糸びす大橋渡り初め式

簸川西4期地区
平成18年4月1日に地元住民など関係者約150名で盛大に行われた渡り初め式。

山陰道（三隅～益田間）環境影響評価着手

山陰自動車道は、鳥取市を起点とし、山陰地方の主要都市を經由し山口県美祢市に至る延長380kmの高速道路です。

このたび平成18年10月17日に山陰道で未着手の三隅益田道路（仮称）約15kmが都市計画決定に向けた環境影響評価に着手しました。

この三隅益田間が整備されますと、浜田～益田間の所要時間が20分短縮されるだけでなく、災害や事故時の代替道路としての機能も有し、石見地域の活性化にも大きく期待されています。

一般国道9号 三隅益田道路（仮称）

延長：約15km

車線数：4車線

起点：浜田市三隅町三隅

終点：益田市遠田町



平成18年11月7日には山陰道（三隅～益田間）の早期整備を願う市民68,962人もの署名を市民の代表者が国土交通省宮田道路局長に手渡しました。

三隅益田間の道路は国道9号しかなく、事故等のために国道9号が全面通行止めになれば、迂回路もなく、生活にも支障をきたします。この間の整備の早期整備が望まれています。



島根県の高速度道路

平成19年1月1日現在



主要地方道玉湯吾妻山線 遠所工区の開通について

主要地方道玉湯吾妻山線は、松江市玉湯町の国道9号から雲南市、奥出雲町を経て比婆道後帝釈国定公園の吾妻山に至る路線で、全長57kmと島根県内の県道の中で一番長い路線です。この路線は奥出雲地域より県都松江市へのアクセス道路ならびに県東部の広域観光ルートを形成する役割を担う重要な路線です。

遠所工区の開通により、狭隘で線形不良（急カーブなど）な区間が解消され、安全で安心な交通の確保に大きな役割を果たすものと期待されます。

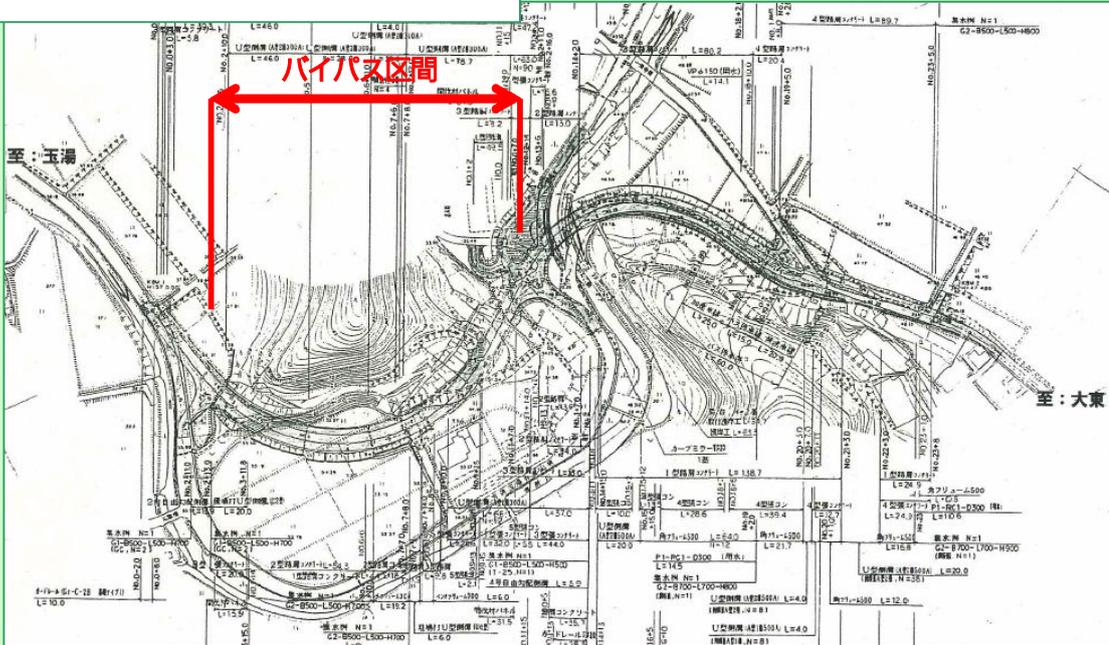


平成19年1月30日(火)に行われた開通式の様子



工事概要

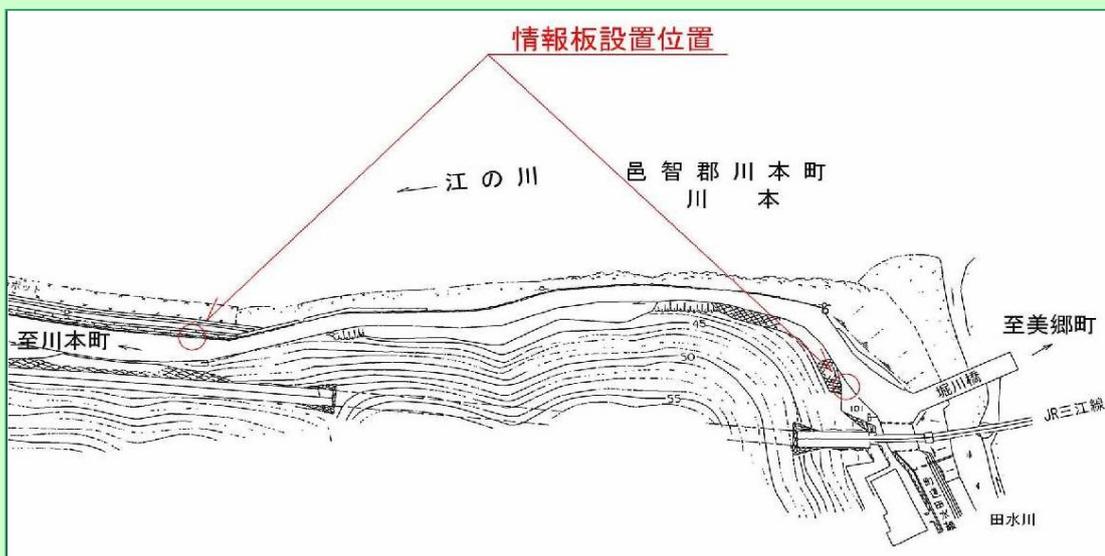
事業名：新世紀道路（生活関連）事業
 事業年：平成8年度～平成18年度
 事業費：220,000千円
 設計概要：延長L=472m
 全体幅員W=7.0m
 車道W=5.5m
 (2.75m×2)
 路肩W=1.5m
 (0.75m×2)
 主要構造物：橋梁L=15.7m(かわい橋)



中山間道路走行支援システムの導入について

県内初

このたび、主要地方道川本波多線の道路幅員が狭くカーブで見通しが悪い区間（邑智郡川本町～美郷町境）において、対向車の接近を知らせる「対向車接近表示装置」を設置しました。



対向車接近表示装置 について

対向車の接近をセンサーで感知して自車側の情報板に「対向車接近」や「大型車接近」の文字が自動点灯します。



ご注意ください！

走行状況等により、情報が表示されなかったり（不表示）、誤った情報が表示される（誤表示）場合がありますので、ご注意願います。

お知らせ

「しまねの道づくり」出前講座について

島根県では平成18年2月より、島根県の「道路整備方針」や「道路整備の状況」等について、県の職員が住民の皆様のところにお伺いして直接説明し、意見交換を行っています。

講座は無料で行いますので、お気軽にお申し込みください。



【「しまねの道づくり」出前講座一覧】

- | | |
|------------------|-------------------|
| ○しまねの高速道路について | ○道路ができるまで |
| ○まちづくりと道路整備について | ○しまねの道づくり方針について |
| ○ひとにやさしい道づくりについて | ○松江第五大橋道路について |
| ○しまねの道路予算について | ○道路愛護ボランティア制度について |
| ○道路特定財源について | ○道路の利用と手続きについて |
- 上記以外についても実施致しますので、講座内容についてはお気軽にご相談ください。

詳しくは道路建設課ホームページ<http://www.pref.shimane.lg.jp/dorokensetsu/>をご覧ください。

農道などについても出前講座を実施しています。（農村整備課・農地整備課）

農業施設等見学会
(農道や農業水利施設などの見学会、農業・農村の役割や農業農村整備事業の目的についての学習会) など

詳しくは島根県ホームページ(出前講座のご案内)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/seisaku/shimanedemaekouza/>をご覧ください。

編集後記

これまで『どうろだより』として、土木部の道路関係4課で発刊しておりましたが、この度、土木部だけでなく農林水産部も含めた総合的な道路に関する情報発信を行っていくため、島根県道づくり連絡調整会議発行の「道づくりだより」としてリニューアルしました。

今後は土木部だけでなく、農林水産部の道路に関する情報もどんどん掲載していきますのでよろしくお願ひします。

また、ホームページで道路に関するご意見・ご質問も受け付けていますのでご利用ください。

発行 島根県道づくり調整会議
問い合わせ先 島根県土木部道路建設課企画調査グループ(0852)22-6251
ホームページ <http://www.pref.shimane.lg.jp/dorokensetsu/>